

地域人材ネット

“食・スローライフ・住民参加” にこだわった観光まちづくり

野口 智子 (のぐち ともこ)

ゆとり研究所 所長



○ 登録者情報

所在地

東京都新宿区

略歴

千葉県千葉市出身。高校卒業後自営。

1977年静岡県沼津市で企画・編集会社設立。

1992年静岡市で「ゆとり研究所」を開設、コンサルト業務を開始。

商店街活性化手法「一店逸品運動」を発案、全国各地で実施。

1995～2004年静岡県掛川市で地域おこし生涯学習塾「とはなにか学舎」コーディネーター。

2003年特定非営利活動法人スローライフ・ジャパンを設立。副理事長・事務局長。

全国でスローライフ運動を展開。

2006年拠点を東京に移し、“食” “スローライフ” “住民参加” にこだわったまちづくり、観光おこしを。

現在、国土審議会半島振興対策部会委員、ふるさと財団地域再生マネージャー。

○ “食・スローライフ・住民参加” にこだわった観光まちづくり

取組の内容

ファーストフードに象徴されるような、速く効率的で画一的なもの・ことが、どれだけ私達を本当の豊かさから遠ざけてきたでしょうか。東京の発展を頂点とする高度成長のモノサシから、手間隙かけて地方や地域をみんなで磨いていく、ゆっくりのモノサシに持ち替えましょう。“食”には地域が現れます。そして食べ物、食べることは老若男女誰でも、毎日関係すること、参加できることです。いろいろな立場の人が集ってわいわいと楽しく“食” “スローライフ”を考え、地域資源を再認識し、その豊かさを他所の人におすそ分けしましょう。そんな観光を通して、新しい地域の力が育っていくと信じます。

実績

- ・2007～2011年度「～食と農と観光の連携～なすとらん倶楽部」アドバイザー。住民組織が毎年新メニューや「食の暦」を手作り。フォーラムも開催。(栃木県那須町)
- ・2010～13年度『たいない「食」のわいわい会議』コーディネーター。特産物である“米粉”の新メニューや観光まちづくりを展開。(新潟県胎内市)
- ・2011～13年度「宿泊産業活性化推進事業“ぐるとば”」アドバイザー“食”にこだわった体験型地域観光メニューをみんなで作り実験する動き。(三重県鳥羽市)
- ・2013年～「移住定住に向けた集落再生」ほぼ毎月の寄合コーディネーター。“ゆっくり”をテーマとした村づくりアドバイス。(奈良県十津川村)
- ・2014～2018年度「フルーツ・ツーリズム」ワークショップ、コーディネーター。“フルーツのまちづくり”を市民参加で進めるための年間アドバイス。人材育成塾のコーディネーター。(和歌山県紀の川市)
- ・2014～2015年度「みんなで作る地域の逸品」ワークショップ。津木地区の物語のある商品開発を。(和歌山県広川町)
- ・2015年「にんにくツーリズム」を町民参加で進めるワークショップ、アドバイス。(青森県田子町)
- ・2018～2019年度「旧金沢小学校を活用してのまちづくり」住民組織「あつまっペクラブ」立ち上げ。「むらフェス」の開催。寺子屋開催。(栃木県那須塩原市)
- ・2019年「ワインツーリズムを創ろう」住民向けワークショップ(北海道池田町)
- ・2018年～「雲仙人プロジェクト」地域づくりできる人づくり、ネットワーク育成。「ものづくり」「ことおこし」のワークショップ「雲仙人サロン」の開催。(長崎県雲仙市)

工夫した点や苦勞した点

会議室では会議をしないこと、毎回何かを食べながら、みんなが発言できる環境づくりを。オリジナルの楽しいワークショップをしながら、手の届く具体的なプロジェクトを進めます。新しい人の繋がりができたり、新しい人が地域デビューできるように工夫します。

ひとことPR

誰かの立派な話を聞くだけの「うなづき上手な人」が何人いても、地域は変わりません。とりあえず何かを始める「行動上手な人」が育つことが大事だと思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進	○	11	その他(人材育成)
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

野口智子オフィシャルホームページ	http://noguchi-tomoko.com/
NPOスローライフ・ジャパン	http://www.slowlife-japan.jp/

連絡先

メールアドレス	yutori〔アットマーク〕noguchi-tomoko.com	その他	
---------	----------------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。